

第1章

中学英文法のトレーニング

01 I / my / me の使い分け
格の使い方をマスターする！ 012

Disk
1-1

02 am / is / are の使い分け
主語 + be 動詞の組み合わせ 016

Disk
1-2

03 was / were の使い分け
主語 + be 動詞過去形の組み合わせ 024

Disk
1-3

04 can / may / should / must / need
助動詞の種類と使い方 028

Disk
1-4

05 一般動詞の現在形
3人称単数現在のsを理解する！ 032

Disk
1-5

06 一般動詞の過去形
規則動詞と不規則動詞 036

Disk
1-6

07	現在進行形・過去進行形の作り方	042	Disk 1-7
08	be 動詞の否定文	048	Disk 1-8
09	助動詞の否定文	052	Disk 1-9
10	一般動詞現在形の否定文 don't / doesn't	056	Disk 1-10
11	一般動詞過去形の否定文 didn't	060	Disk 1-11
12	be 動詞を含む疑問文	064	Disk 1-12
13	助動詞を含む疑問文	068	Disk 1-13
14	一般動詞現在形の疑問文 Do ~ ? / Does ~ ?	072	Disk 1-14
15	一般動詞過去形の疑問文 Did ~ ?	076	Disk 1-15

16 When ～? (いつ)

疑問詞 When の使い方

080

Disk
1-16

17 Where ～? (どこで)

疑問詞 Where の使い方

084

Disk
1-16

18 How ～? (どう)

疑問詞 How の使い方

088

Disk
1-17

19 Why ～? (なぜ)

疑問詞 Why の使い方

092

Disk
1-18

20 What ～? (なに)

疑問詞 What の使い方

096

Disk
1-19

21 Who ～? (だれ)

疑問詞 Who の使い方

100

Disk
1-20

22 Which ～? (どの)

疑問詞 Which の使い方

104

Disk
1-21

23 目的「～するために」の

to 不定詞の使い方

108

Disk
1-22

24 訳さない「It」の使い方

天候、時間、距離

112

Disk
1-24

25 形式主語

【it is ～ to 不定詞】の使い方

116

Disk
1-25

第2章

パターントレーニング

01 I want to ～. **願望**

【(私は) ～したい】

122

Disk
2-1

02 I want you to ～. **依頼**

【あなたに～してほしい】

126

Disk
2-2

03 I hope ～. **希望**

【(私は) ～を望みます】

130

Disk
2-3

04 I think ～. **意見** **気持ち**

【(私は) ～だと思います】

134

Disk
2-4

05 I don't think ~. (意見) (気持ち)
「(私は) ~ではないと思います」 138

Disk
2-5

06 Thank you for ~. (感謝)
「~してくれてありがとう」 142

Disk
2-6

07 I'm going to ~. (予定)
「近々、~する予定です」 146

Disk
2-7

08 I hear ~. (伝聞)
「~らしいですね」 150

Disk
2-8

09 I remember ~. (記憶)
「~を覚えています」 154

Disk
2-9

10 I have + 過去分詞 ~. (経験)
「~したことがあります」 158

Disk
2-10

11 Have you ever ~? (経験をたずねる)
「~したことはありますか？」 162

Disk
2-11

12 Can I ~? (許可)
「~してもいいですか？」 166

Disk
2-12

13 Can you ~? (お願い) 170
「~してもらえますか？」

Disk
2-13

14 I have to ~. (義務) 174
「~しないとイケない。」

Disk
2-14

15 How about ~? (提案) 178
「~はどうですか？」

Disk
2-15

16 How is ~? / How was ~? (感想を聞く) 182
「~はどうでしたか？」

Disk
2-16

17 Is there ~? Are there ~? (存在をたずねる) 186
「~はありますか？」

Disk
2-17

18 Let me ~? (許可) 190
「私に~させてください」

Disk
2-18

付録 その他の便利な表現 28 194

Disk
2-19 ~ Disk
2-22

おわりに 204

音声ダウンロード方法 206

本書の使い方について

本書はスピーキングトレーニングと文法の学習が同時にできるようになりました。最終的にはみなさんが自分で考えて英文を作れるようになることを目指しています。したがって、**テキストを目で見て答えがわかることに満足するのではなく、音声 CD の日本語を聞いて、頭の中で瞬時に英文を作り、声に出せることを目指してください。**単純な英文ばかりですが、1冊終えた頃にはきっとある程度自分で英語を話せるようになっているはずです。

みなさんが英語を話せるようになるために、以下の手順で学習することをオススメします。

ステップ①

まずはトレーニング問題をやって空所に何が入るか考えてみてください。



ステップ②

空所に適語を入れることができなかった場合、「解説授業」を読んで理解を深めてください。



ステップ③

音声 CD を聞きながらトレーニング問題をもう一度解いてみてください（音声 CD は日本語の後にポーズが入り、その後に英語が流れてきます）。



ステップ④

テキストを見ずに、音声 CD の日本語だけを聞いて瞬時に英文が言えるようになる訓練をしてください。

* スピーキングに自信がある方は最初からテキストを見ず、音声を聞いて流れてくる日本語を英語にする訓練をするのもオススメです。